

## 北九州市の先進的な政策・充実した政策

### 環境・産業・経済

#### ● G7北九州エネルギー大臣会合開催

平成28年5月に伊勢志摩サミットの関係閣僚会合の一つとしてG7北九州エネルギー大臣会合が開催され、経済産業省や福岡県等と協力して歓迎レセプションや市内視察、展示、関連事業等を実施しました。この実績を生かし、さらなるMICE誘致や環境エネルギー政策の推進に取り組みます。



#### ● TGC北九州2016を開催

地方創生に向け、本市の新たなイメージの創出とともに地域の活性化を図るため、平成28年10月に「東京ガールズコレクション」とコラボレーションしたファッションイベントを本市で開催するとともに商業施設や商店街、NPO法人等と連携した関連イベントを開催しました。



#### ● 訪日誘客支援空港認定

北九州空港が訪日誘客支援空港に認定されました。

国は、地方空港における国際線の就航を強力に推進するため、地方自治体等が高いレベルで誘客・就航促進の取組を行う地方空港を訪日誘客支援空港と認定し、ハード、ソフトの両面で重点的に支援するとしています。

この認定を契機とし、北九州空港における国際線の誘致、増便に向け取り組んでいきます。



#### ● 「創業・雇用に係る国家戦略特区」における覚書を締結

平成28年6月に福岡県信用保証協会と「創業・雇用に係る国家戦略特区」における業務連携・協力に関する覚書を締結しました。

この覚書締結は、創業支援など、中小・小規模企業者の振興に資するため、情報提供や業務連携・協力を円滑に行い、地域経済の活性化を図ることを目的としています。

#### ● 全国初の「シニア・ハローワーク」を開設

国家戦略特区の認定を受け、全国初となる「シニア・ハローワーク戸畑」が平成28年8月29日に開所しました。高齢者等の様々な就業ニーズに応じていく幅広い就業支援に向けて、北九州市と福岡労働局が連携して一体的に事業運営を行っています。

#### ● カンボジア・プノンペン都で下水道技術協力を開始

「プノンペン都下水・排水施設管理能力向上プロジェクト」がJICA草の根技術協力事業として採択されました。

これは、市民意識の向上と下水・排水施設の適切かつ効率的な維持管理を目指すことを目的に、現地担当者を本市で受け入れて研修するとともに、指導者を現地へ派遣し技術協力を行うもので、本市とプノンペン都の姉妹都市締結後、初めての下水道技術協力事業です。

この技術協力を足掛かりに、下水道施設の設計や整備、維持管理など、水ビジネスへの展開を目指します。



### 安全・安心

#### ● 119番通報時などの多言語通訳サービスを開始

外国語119番通報を受信した際に、消防指令センターから通訳コールセンターに電話をつなぐことで三者間通話が可能になる電話同時通訳を開始しました。

対応しているのは、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、タイ語の7カ国語です。

救急現場等からでも消防職員が携帯電話を使用し、直接通訳依頼をすることもできます。

24時間での7カ国語対応は政令市で初となります。



#### ● 安全・安心総合相談ダイヤルを開始

市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受付ける「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図ります。

＃7374または093-582-2428

## 福祉・子育て・教育・衛生

## ● ペリネイタルビジット事業を開始

本事業は、妊産婦の育児不安を軽減するため、市医師会との連携のもと、産前から産後間もない妊産婦等が、育児について早い段階から小児科医に何でも相談できるよう支援するもので、政令指定都市で初めての取り組みです。

## ● 「ワンヘルス」に関する国際会議の開催

平成28年11月に、世界31の国・地域から、医師や獣医師などの専門家が集まり、狂犬病やエボラ出血熱等の人と動物の共通感染症などについて議論する「ワンヘルス」に関する国際会議が、本市で開催されました。この開催に合わせ、福岡県等と協力して、公衆衛生や動物愛護に関連するイベントや北九州市の施策や観光のPRを行い、国内外に向け感染症に関する最新情報とともに本市の魅力が発信されました。今後も感染症対策や動物愛護事業の推進に取り組みます。



## 観光・文化・スポーツ

## ● 関門海峡が日本遺産に認定

平成29年4月、文化庁が認定する「日本遺産」に、本市と下関市が合同で申請した関門海峡沿岸を舞台としたストーリー「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」が認定されました。明治～昭和初期にかけて関門海峡沿岸に建設されたレトロな建造物群などのノスタルジックな街並みを前面に押し出して構成したストーリーです。

日本遺産とは地域の持つ歴史的魅力や特色を通じてわが国の文化・伝統を語るストーリーのことで、県内では太宰府市に次いで2件目の認定となりました。今後、両市は文化庁の補助を受け、関門海峡を中心とした地域の魅力を国内外に向けて発信する事業を展開します。



## ● 「卓球ジャパンオープン北九州」の開催決定

「卓球ジャパンオープン北九州」が平成30年6月に開催されることになりました。

国際卓球連盟（ITTF）が主催する日本国内における国際オープン大会であり、毎年約20大会開催されているワールドツアーの1つです。

男女とも世界ランク上位選手が出場し、参加選手は約200名に上ります。北九州市での開催は1996年以来22年ぶりで、本市出身の早田ひな選手も出場予定です。

## ● 「HSBCワールドラグビー女子セブンズシリーズ2016-2017」北九州大会を開催

平成29年4月、女子7人制ラグビーにおける世界トップレベルの国際大会「HSBCワールドラグビー女子セブンズシリーズ」が本市で開催されました。本大会は今回が日本初開催であり、同時に、ミクニワールドスタジアム北九州で開催された初の国際大会となりました。ホスト国として招待された日本代表「サクラセブンズ」に加え世界11カ国のチームが参加し、本市出身の長田いろは選手も出場しました。



## 北九州市の最近の受賞歴

## ● 「次世代育成環境ランキング」政令指定都市第1位（6年連続）

「NPO法人エガリテ大手前」主催の第12回「次世代育成環境ランキング」において、本市の出産環境（病院・診療所が多い）、乳幼児保育（待機児童が少ない）や小児医療（平日夜間・土日祝日診療）の充実などが評価され、平成28年度も政令指定都市第1位を獲得しました。（平成17～21年度、23～27年度も第1位、平成22年度は第2位）



## ● 「ディールウォッチ・アワード2016」、「キャピタル・アイ・アワード2016」を受賞

「北九州市平成28年度第1回公募公債」が、トムソン・ロイター・マーケッツから「ディールウォッチ・アワード2016」をキャピタル・アイから「キャピタル・アイ・アワード2016」を受賞。

地方債の安定消化及び債券市場に好影響を与えたとして市場・投資家から高い評価を得ました。

